2020年度

環境経営レポート

（対象期間：2020年6月1日～2021年5月31日）

発　行　日　　2021年7月1日
発行責任者　　山田　浩之

地球と人にやさしい土木＝エンジニアリングを求めて

株式会社明豊建設

®環境省
エコアクション21

認証番号

1　組織の概要

事業者名及び代表者名

株式会社明豊建設
代表取締役社長　本庄　浩二
代表取締役専務　山田　浩之

関連会社

明豊物産株式会社
代表取締役　　本庄　浩二

所在地

本社	〒526－0804	滋賀県長浜市加納町394
アスコン部	〒522- 0004	滋賀県彦根市鳥居本町2880
リサイクル部	〒522- 0201	滋賀県彦根市高宮町2124-1
明豊物産㈱	〒526－0804	滋賀県長浜市加納町394

環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者　管理部　桐畑　剛
連絡先：0749-62-6580
EA21担当責任者　総務部　富田まなみ
連絡先：0749-62-6580

事業活動の内容（認証・登録範囲）

土木工事業、舗装工事業、浚渫、水道施設工事業
アスファルト合材製造販売業
バイオ技術によるコケ生産、産業廃棄物中間処理業

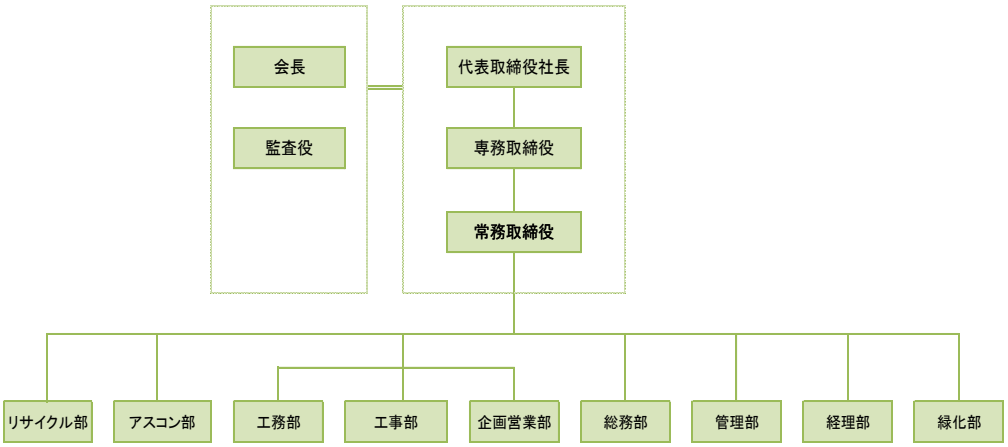
事業の規模(2020年度)

資本金	9,500 万円
売上高	40 億円／年
工事件数	115 件／年
受託産業廃棄物量	24,577 t （2020/6/1～2021/5/31）
全従業員	59 名+役員2人＝61人（関連会社を含む）

会社設立

昭和40年8月30日

＜組織図＞



面積：㎡	本社	アスコン部	リサイクル部	
事務所床面積	934.9	244.28	28.25	
倉庫床面積	362.4			
駐車場面積	3,183.6			
資機材置場面積	1,598.0			
日生産・処理能力			450 t	
従業員　　名	45	9	3	（役員2人）
認証・登録	○	○	○	

（明豊物産株式会社、従業員：2人）

過去3年間の環境負荷の実績

	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素の排出量	kg-CO2	1,359,665	1,316,128	1,366,445
廃棄物の排出量	t	5860.8	6960.4	9721.4
水の使用量、排水量	㎥	1,609	902	1,008
化学物質の使用量	kg	8.55	9.50	11.3

2　対象事業所

・㈱明豊建設
　本社　　滋賀県長浜市加納町394
　建設現場
　ｱｽｺﾝ工場　　滋賀県彦根市鳥居本町2880
　ﾘｻｲｸﾙ工場　　滋賀県彦根市高宮町2124-1
・明豊物産㈱　　滋賀県長浜市加納町394

■リサイクル部の概要

＜産業廃棄物処理業許可＞
◎処分業

産業廃棄物		
都道府県		滋賀県
許可番号		第02520141548
許可年月日		平成28年11月22日
許可期限		令和3年11月21日
産業廃棄物の種類	がれき類	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片
		これに類する不要物

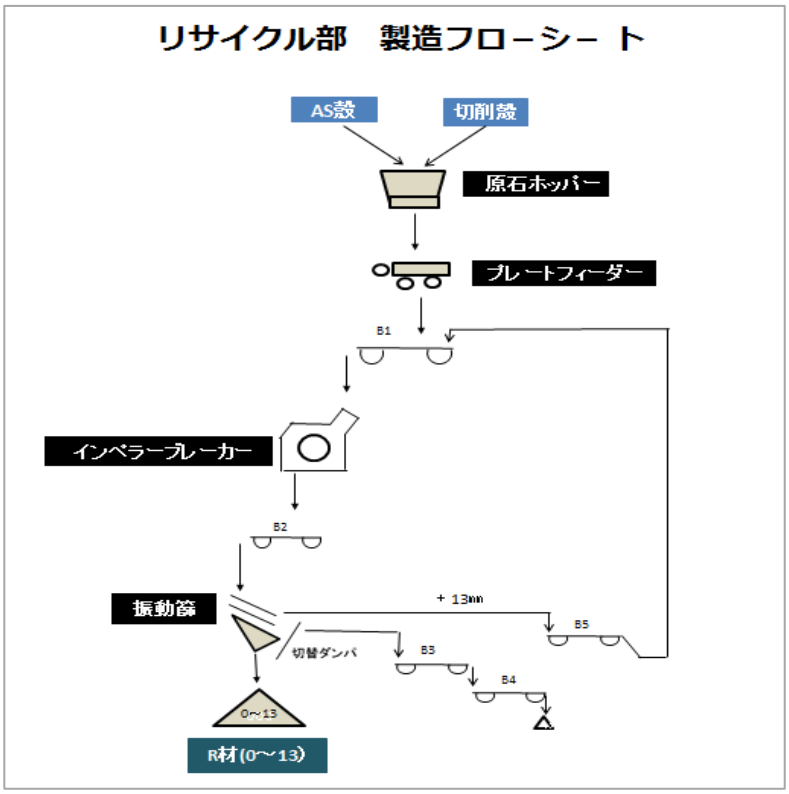
＜保管施設＞

所在地	面　積	保管を行う産業廃棄物の種類	保管上限	備考 （設備の概要等）
彦根市高宮町2124-1	1530㎡	がれき類	3493.125㎥	屋外 ・中央置場1050㎡ H=7.5m ・北東置場480㎡H=3m （事業所敷地境界に3～4mの鋼板囲い設置）

＜産業廃棄物の処理施設＞

設置場所	設置年月日	施設の種類	産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造・設備の概要	処理工程図
彦根市高宮町2124-1	H2年1月20日	がれき類の破砕施設	がれき類	450t/日	破砕方式	鉄造 ・投入ﾎｯﾊﾟｰ ・ﾌﾟﾚｰﾄﾌｨﾀﾞｰ ・ｲﾝﾊﾟｸﾄﾌﾞﾚｰｶｰ ・振動篩 ・ﾍﾞﾙﾄｺﾝﾍﾞｱ （ﾌﾞﾚｰｶｰ、振動篩は、ｽﾄﾚｰﾄ建屋内に設置）	下図のとおり

処理工程図



＜廃棄物処理料金＞

個別見積もりによる

＜受託した産業廃棄物の処理量（2020/6/1～2021/5/31）＞

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(ⅱ)中間処理		がれき類	破砕	24,577
	うち再資源化等	がれき類	再生材、再生路盤材	24,577
		再資源化等量小計		24,577
中間処理合計				24,577
(ⅳ)中間処理後の産業廃棄物	最終処分			0
				0
				0
	再資源化等	がれき類	再生材、再生路盤材(売却)	24,545
		金属くず	(売却)	28
		混合廃棄物	中間処理業者へ(委託)	4
		再資源化等量小計		24,577
中間処理後処分量合計				24,577

株式会社明豊建設
環境経営方針

環境理念

㈱明豊建設は、人と自然との共生を図るため『環境の保全に努め、地球に優しい企業活動を行う』ことを基本理念とする。

行動指針

以下の環境経営方針に基づき、全従業員が環境へ配慮した事業活動を行う。

1. 当社㈱明豊建設は、建設工事業務から生じる環境への影響を的確にとらえ、技術的、経済的に可能な範囲で、継続的な環境保全活動を行う。

2. 当社環境マネジメントシステムは、環境経営目標の達成、是正活動、内部監査、経営層による見直し等によって、環境保全活動の継続的改善を約束する。

3. 環境に関連する法規制等を特定し遵守するとともに、汚染の予防に努めることを約束する。

4. 環境経営方針の達成のために、自社が可能な範囲で環境目的・目標を掲げ、プログラムを策定し、環境保全活動を推進する。

5. 環境マネジメントシステムは、内外の様々な変化に対応して、環境目的・目標を見直す手順を含む。

6. 環境保全活動では、全社的活動を中心に、次の活動について重点的に取り組む。

   (1) 資源を大切にする。
   (2) 廃棄物を削減する。
   (3) 水を節約する。
   (4) 有害な化学物質を適正に管理する。
   (5) 建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。
   (6) グリーン購入の推進をする。
   (7) 自らが施工、販売・提供する製品及びサービスの開発を推進する。
   (8) 受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化を推進する。

7. この環境経営方針は、文書化し、全従業員に周知すると共に、一般の人にも公開する。

制定：2012/6/1
改定：2019/12/1

株式会社 明豊建設
代表取締役社長 本庄浩二

4･6　環境経営目標とその実績

過去3年（2016～2018）の実績を自己チェック等により把握し、その平均結果を基準値として、２０１９年度から２０２１年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。
尚、このレポートでは、２０２０年６月から２０２１年５月までの運用実績について取りまとめました。

方針	取組項目	年度	過去３年基準	2019年		2020年		2021年	
		単位	（実績）〔基準値〕	（目標）	（実績）	（目標）	（実績）	（目標）	（実績）
資源を大切にする。	電力消費量の削減（kWh）排出係数0.418 kg-CO2/kWh	基準年削減%		0.5	-2%	1	-9%	1.5	
		消費量	799,886	795887	817822	791887	874284	787888	
		(kg-CO_2)	334352.3	332680.6	341849.6	331008.8	365450.7	329337.1	
	ガソリン消費量の削減（単位：L）	基準年削減%		0.25	-4%	0.5	-6%	0.75	
		消費量	53741	53606	55657.73	53472	56830.7	53337	
		(kg-CO_2)	124767.2	124455.3	129218.3	124143.4	131941.6	123831.5	
	軽油消費量の削減（単位：L）建設現場	基準年削減%		0.25	-14%	0.5	5%	0.75	
		消費量	116552.7	116261.3	132678.1	115969.9	110814.7	115678.5	
		(kg-CO_2)	301430.8	300677.3	343134.7	299923.7	286591.1	299170.1	
	灯油消費量の削減（単位：L）建設現場	基準年削減%		1	50%	1.5	68%	2	
		消費量	6532.9	6467.5	3272.4	6434.9	2114.0	6402.2	
		(kg-CO_2)	16279.4	16116.6	8154.6	16035.2	5268.0	15953.8	
	重油消費量の削減（単位：L）アスコン部	基準年削減%		0.25	7%	0.5	-9%	0.75	
		消費量	195477.7	194989.0	182140.4	194500.3	212933.0	194011.6	
		(kg-CO_2)	529672.1	528348.0	493533.1	527023.8	576969.6	525699.6	
	LPG消費量の削減（単位：L）	基準年削減%		0.25	55%	0.5	58%	0.75	
		消費量	177.1	176.7	79.4	176.2	74.7	175.8	
		(kg-CO_2)	531.8	530.4	238.4	529.1	224.3	527.8	
	二酸化炭素排出量の削減	基準年削減%		0.32%	-1%	1%	-5%	1%	
		(kg-CO_2)	1307033.8	1302808.2	1316128.7	1298664.0	1366445.4	1294519.9	
受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化	受託した産業廃棄物のリライクル率の向上	%	－	リサイクル率90%以上を維持	99.9%	リサイクル率90%以上を維持	99.9%	リサイクル率90%以上を維持	
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進	%		再生資源化率90%以上とする。	99.6%	再生資源化率90%以上とする。	99.3%	再生資源化率90%以上とする。	
水を節約する。	事業所利用水の節水（単位：㎥）	%		1	54%	1.5	49%	2	
		(㎥/年)	1958	1938.4	902.0	1928.6	1008.0	1918.8	
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	回数	有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理を行う	12	化学物質の適正管理を行う	12	化学物質の適正管理を行う	
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	回数	12	12	12	12	12	12	
		(以上/年)	12	12	12	12	12	12	
グリーン購入の推進をする。	環境に配慮した物品調達を推進する。	品目	9	12	12	12	12	12	

目標の説明や補足事項

1　購入電力の排出係数は、0.418kg-CO2/kWh（関西電力㈱、2017年度実績、電力排出係数〔調整後〕）
2　廃棄物排出量は、建設現場からの廃棄物に対しての総排出量で管理する
3　水使用量については、事務所における水使用量の削減について実施する
4　グリーン購入は、事務用品の購入品目数に着目し管理する。
5　上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために３Ｓ活動（整理、整頓、清掃）に取り組む
6　エコ商品としてスナゴケ商品を継続販売できるように努力する

5　環境活動計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門･担当者
資源を大切にする。	電力消費量の削減（kWh） 排出係数0.418 kg-CO2/kWh	① 不用時の消灯 ② 機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③ エアコンの温度管理（夏季28℃±１℃）	総務部
	ガソリン消費量の削減 （単位：L）	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ 環境に配慮した稼働	総務部
	軽油消費量の削減 （単位：L） 建設現場		
	灯油消費量の削減 （単位：L） 建設現場	ストーブの温度管理（冬季２０℃±１℃）	工事部 アスコン部
	重油消費量の削減 （単位：L） アスコン部	仕事量により変化があるため適正に管理する。	アスコン部
	LPG消費量の削減 （単位：L）	湯沸し等、炊事の節約	総務部
受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化	受託した産業廃棄物のリライクル率の向上	①受託産廃の計測・搬入管理の徹底 ②施設・設備の運転・維持管理の徹底 ③リサイクル骨材の販売促進	リサイクル部
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進	廃棄物 ① 建設廃棄物を分別し、リユース・リサイクルを徹底する。（廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。） ② 建設混合廃棄物を削減する ③　無駄な資機材を購入しない。	総務部 工事部
水を節約する。	事業所利用水の節水 (単位:㎥)	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。	総務部
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	使用する有害化学物質を把握し、適正に管理する。	工事部 アスコン部
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	美知メセナ活動に参加する。	総務部
グリーン購入の推進をする。	**環境に配慮した物品調達を推進する。**	環境に配慮した物品購入を各部に通達し、半期ごとに購入品目実績を確認する。	総務部

取組の紹介

現場においては、工事の内容により資源の使用量、廃棄物量が違ってきますが、環境に配慮した作業方法により、環境活動に取組んでおります。

- **グリーン購入においては、エコマーク品の推奨品目を選定し、購入品目数の把握をを実施しております。事務用品のグリーン購入品目数増加に取り組んでいます。**
- **エコ商品（スナゴケ）を販売していますが、流通量拡大に向けて継続努力しています。**

7　環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

方針	取組項目	年度	2020年（目標）	2020年（実績）	取組の評価	担当責任者
資源を大切にする。	電力消費量の削減（kWh） 排出係数0.418 kg-CO2/kWh	%	1	-9%	年間通して未達成ではあるが、施設の老朽化や、設備の増加等もあり、今後の社屋等の改築までは現状維持を目標が限界かと思われる。	総務部
		消費量	791887	874284		
		($kg-CO_2$)	331008.8	365450.7		
	ガソリン消費量の削減（単位：L）	%	0.5	-6%	ガソリン消費、重油消費が目標値を上回っているが、売上高が伸びれば当然増加する内容なので、比率を考察すれば良い結果が得られたと思われる。 しかし、設備の入替や節約については、今後も推進を行っていく必要があるので、目標を高く持って取り組んでいく。	総務部
		消費量	53472	56831		
		($kg-CO_2$)	124143.4	131941.6		
	軽油消費量の削減（単位：L）建設現場	%	0.5	5%		
		消費量	115970	110814.7		
		($kg-CO_2$)	299923.7	286591.1		
	灯油消費量の削減（単位：L）建設現場	%	1.5	68%		
		消費量	6434.9	2114.0		
		($kg-CO_2$)	16035.2	5268.0		
	重油消費量の削減（単位：L）アスコン部	%	0.5	-9%		
		消費量	194500.3	212933.0		
		($kg-CO_2$)	527023.8	576969.6		
	LPG消費量の削減（単位：L）	%	0.5	58%		
		消費量	176.2	74.7		
		($kg-CO_2$)	529.1	224.3		
	二酸化炭素排出量の削減	%	1%	-5%		
		($kg-CO_2$)	1298664.0	1366445.4		
受託した産業廃棄物の適正処理と再資源化	受託した産業廃棄物のリライクル率の向上	%	リサイクル率90%以上を維持	99.9%	受託量、資源化量及びリサイクル率が把握できている。	リサイクル部
廃棄物を削減する。	分別及びリサイクルの推進	%	再生資源化率90%以上とする。	99.3%	99%以上の再資源化が出来ている。	総務部 工事部
水を節約する。	事業所利用水の節水（単位：m^3）	%	1.5	49%	問題なし	総務部
		(m^3/年)	1928.6	1008.0		
有害な化学物質を適正に管理する。	化学物質の適正管理	回数	化学物質の適正管理を行う	12	問題なし	工事部 アスコン部
建設事業の環境への取組を効果的に推進するため、地域社会と環境コミュニケーションを図る。	地域の美化活動に参加する。	件数	12	12	今後も継続をする事	総務部
		(件/年)	12	12		
グリーン購入の推進をする。	環境に配慮した物品調達を推進する。	品目	12	12	今後も継続をする事	総務部

次年度の主な取組内容

全社従業員への周知徹底をし、各担当責任者より取り組み内容等再度見直しを行う。
- グリーン購入の購入品目の増加を積極的に推奨し結果に繋げます。
- 新しい環境関連の取組みとして、琵琶湖水草堆肥化事業を更に前進させる。

8　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟及び苦情はありません。
又、過去３年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	・一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出 ・産業廃棄物（がれき類）の処分業許可、規制遵守	適正処理
建設リサイクル法	建設副産物の管理、排出	適正処理
フロン排出抑制法	冷媒漏えい点検(定期･簡易)・整備記録簿	遵守
騒音規制法	対象特定施設・特定建設作業実施の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設・特定建設作業実施の届出、規制値の遵守	遵守
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の届出、排出基準遵守、ばい煙測定	遵守
公害防止組織法	公害防止管理者等の選任、選任届出	遵守
浄化槽法	保守点検、11条検査	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。		

9　代表者による全体の評価と見直し･指示結果

結果と考察を見れば、本年度は優秀な結果が得られたと思われるが、電力削減に於いては、設備の老朽化に加えて、今年度も新型コロナウイルス感染防止への対応のため換気を行いながら空調を運転することによる光熱費の上昇もあり削減活動には苦慮する所でもあった。
今後も、施設の老朽化の改善やアイドリングストップ等、従業員に意識を高める取組を積極的･継続的に行っていく事。
また昨年の指示にあったグループウェアの有効利用を行い、レポートの閲覧だけではなく、日々の状態を従業員が把握できるような方法を検討する事。

〔変更の必要性〕

・環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり
・環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり
・実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり

地域貢献への取組活動

美知メセナ

当社は滋賀県が推進する「美知メセナ」＝道路の美化・清掃に関するボランティア活動を平成19年から始め、滋賀県長浜市県道祇園八幡中山線の祇園町交差点から西200Mの交差点まで（フレンドーマート様の北側の県道）の除草・清掃活動をしています。

CESAプログラム

当社は、NPO法人：循環型社会形成推進協議会（Construction Eco Spirit Association）＝CESAに参加し、「人と自然にやさしい工事のための環境プログラム」の実現と、地域の方との交流のために「CESAアクションプログラム＝環境教室」活動を行なっています。

びわ湖環境ビジネスメッセ

びわ湖環境ビジネスメッセは、「環境と経済の両立」を基本理念に維持可能な経済社会を目指し、環境産業の育成振興を図るため、環境負荷を低減する製品・技術・サービス等を対象とした商談・取引と情報発信・交流の場となる環境産業の総合見本市として、毎年10月に長浜ドームで開催されています。 全国から5万人規模の来場者がある「国内最大級の環境産業見本市」です。

当社は「自然と調和する社会」の創造を目指し、2006年から「環境土木」の分野で参加しております。
企業として、地球温暖化防止に少しでも役立つ製品の開発・施工に取り組んでいます。
（弱アルカリ土舗装・スナゴケ緑化）